

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）

フリガナ）セツナン	フリガナ）ケイザイ	フリガナ）ウエスギゼミ
摂南	経済	植杉ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）ウエスギゼミチーム	フリガナ）カワグチ タモン	5 人	無
植杉ゼミチーム	川口 太聞		

研究テーマ（発表タイトル）

秘めたる想いを引き起こせ！ - 住民 WS -

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

政府による地方創生の流れを受けて、全国の自治体において観光を通じた地域活性化が急務とされている。私たちの研究の舞台である和歌山県日高郡由良町も同様である。由良町は観光資源の点からみて少なからず魅力を持っているにもかかわらず、近年観光客数が低下しており、2 次交通の便も悪いなど、今後観光振興するうえで多くの問題が存在する。

この地域の現状を変えるために必要なのは、行政による方針作成もさることながら、その方針に従って住民が主体的に地域を創造してゆくといった気持ちとそれを反映した活発な経済活動である。そのような住民主体の動きを産官学民でどう紡ぎだしていくかを考察するのが本研究の目的である。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

由良町の人口は年々減少傾向で、65 歳以上の老年者人口は約 34%と全国平均と比べても高い数値が出ており、消滅可能性都市とされている。また就労、通学していない人は全体の約 40%を占めている。さらに、由良町には約 370 件の空き家が存在し、住民からも不満の声があがっている。

主な観光地としては、醤油の発祥地である興国寺や、白崎海洋公園などが挙げられる。特に白崎海洋公園は、ダイビングを行える場所で多くの集客が見込まれる。しかし、海岸にはゴミが大量に放置されているところがある上、道幅の狭い道路があることから集客に繋がっていない。由良の人口ビジョンについてのアンケートの結果では、交通アクセスについての不満が非常に多く、海や山、鍾乳洞といった観光資産に恵まれているという意見は出ているものの、観光客が少ないことが現状である。

3. 研究テーマの課題

地域の観光振興についての問題や不満が地域住民にあるのは分かったが、地域全体としてその問題意識を共有する場がなく、各自が行政の取り組みに対して一方的に依存しがちな状況が打開されていない。地域住民が、行政による大まかな観光振興施策の方針には賛同しているものの、どのように行動を起こせばいいのかわからないまま迷っている状況である。これら状況を変える取り組みが必要である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

そこで私たちは、行政の協力のもと、産官学民協働の地域ワークショップを重ね住民の意見を引き出し、地域に対する問題意識と再評価を芽生えさせようと考えた。そしてワークショップを通じてまとめられたアイデアを実行に移す地域の実働組織を立ち上げ、地域全体のコンセンサスを得られる地域活性化を目指す。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

由良町でのフィールド調査を初めとし、夏期に摂南大学生、由良町の観光事業者、一般住民および行政が三位一体となった1度目のワークショップを催し、OTJ法を用い7グループに分かれ、KJ法でアイデアを集結させた。集めたアイデアはグループごとにアイデア地図を作成し、目標やPR方法、問題点、改善点が浮上した。さらに、参加者にアンケート調査も実施し、町民、観光協会の方々から、まだ出ぬ秘めた意見、感想を募った。秋期に2度目となるワークショップを催した。前回のワークショップに引き続き、アイデア地図を作製した。1度目より詳しくするために写真を活用し、更なるアイデアを可視化させた。また、イベントカードというものを参加者に取り組んでもらった。1度目、2度目のワークショップから得た意見から、各自が思う考えを図、絵と共に説明してもらう紙を配布した。練られた意見が次々とあがり、グループ内でベスト3を決定してもらった。他のグループの参加者にも見てもらうためにポスターセッションを行い、意見の交換の場を設けた。

以下は、活動記録である。

2016年5月20日（金）	事前観光資源調査
2016年9月5日（月）	事前観光資源調査（2度目）
2016年9月6日（火）	ワークショップ実施・アンケート調査
2016年9月7日（水）	アンケート調査発表
2016年10月28日（金）	ワークショップ実施・アンケート調査（2度目）

6. 結果や今後の取り組み

2回目のワークショップ終了時に町民の方々には各自でイベントカードを作成するという課題を出している。今年の12月にはそのイベントカードを用いた3回目のワークショップを実施予定であり、より一層の地域の活性化に取り組む実働組織を形成する。モニターツアー「周遊観光タクシー」を観光協会と地域産業と学生による、産官学民が協働により新規商品化を目指す。

今後、由良町と共に歩んでいき、町民、観光協会の方々とは意見を交換し、増々の発展の可能性を広げていくために研究を深めていきたい。

7. 参考文献

由良町人口ビジョン <http://www.town.yura.wakayama.jp/docs/2015102700015/files/jinnkou.pdf>

2016年10月26日水曜日

由良町の空き家 90軒増加 <http://www.hidakashimpo.co.jp/news/2016/03/post-5352.html> 2016年10月26日水曜日

由良町HP <http://www.town.yura.wakayama.jp/> 2016年10月27日

空き家対策の推進に関する特別措置法(概要) <http://www.mlit.go.jp/common/001080534.pdf> 2016年10月27日

「戦艦大和」の街、尾道が外国人観光客誘致に成功した理由とは？ <http://japanspotting.net/blog/onomichi-kankou.html> 2016年10月27日

「景観損なう」と撤去勧告 空き家対策で和歌山県が条例の初適 <http://wbs.co.jp/news/2014/04/18/40983.html> 2016年11月1日

ワークショップー新しい学びと創造の場（著）中野 民夫（岩波新書）2001/1/19

ファシリテーション入門（著）堀公俊（日経文庫）2004/7/16

ワークショップ入門（著）堀 公俊（日経文庫）2008/11

空き家急増の真実 放置・倒壊・限界マンション化を防げ（著）米山秀隆（日本経済新聞出版社）2012/6/1

地方都市再生論 暮らし続けるために（著）藤波匠（日本経済新聞出版社）2010/6/19

解決！空き家問題（著）中川寛子（ちくま新書）2015/11/5

地方消滅 東京一極集中が招く人口急減（編著）増田寛也（中公新書）2014/8/25

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。